

平成 2 5 年

第 5 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 5 年 8 月 1 9 日

平成25年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告をさせていただきます。

◇はじめに

昨年4月に発生しました白岩焼窯跡の毀損につきましては、事故発生後、秋田県文化財保護室の指導を受けながら、原状回復の修復作業を行って参りましたが、5月中旬に修復作業が終了したことに伴い、秋田県文化財保護室に原状復旧の終了報告書を提出いたしました。

県文化財保護室からは、5月31日付けで原状復旧が終了したことを確認した旨の通知があり、昨年からの一連の処理が終了したことになります。皆様には、これまで多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことに改めてお詫び申し上げます。

教育委員会として、この事件を重く受け止め、市の職員事故等審査委員会の意見を受けて、8月16日付けで関係する職員1人に厳重注意処分を行いました。

今後、このようなことがないように十分注意するとともに、文化財保護に関する研修や文化財保護業務の体制強化を図ります。また、市民の皆様や関係団体等に対し、文化財の適切な保存や活用に関する普及啓発に努めて参ります。

【教育指導課】

◇仙北市・富士河口湖町子ども交流事業について

クニマスの再発見を契機に始まった交流事業も2年目を迎えました。今年は8月3日から5日まで、2泊3日の行程で、市内中学校3年生6人が富士河口湖町を訪問しました。

参加した生徒は、山梨県立富士ビジターセンターでの富士山学習、西湖・河口湖、青木ヶ原樹海の見学などを行いました。また、富士河口湖町長、教育長とも面会させていただきました。

3日間の訪問を通して、生徒達は、富士河口湖町周辺の壮大な自

然のすばらしさに感動するとともに、町長からは、地域の特色を生かして町を活性化していくことが、自分たちの将来を作っていくうえで重要であることを教えていただきました。

今後は、自校の生徒や保護者に体験発表の機会を設け、本事業の目的でもある環境学習の視点から、クニマスの将来を考え地域に貢献する中学生の育成を図って参ります。

なお、9月15日の田沢湖マラソンには、富士河口湖町の小学生4人がペアマラソンに、大人2人が20キロマラソンに出場し、交流親睦を図る予定です。

【生涯学習課】

◇仙北市成人式について

8月15日に、角館交流センターを会場に成人式を開催しました。今年の成人該当者は、302人で234人の出席がありました。成人者は、久々の友との再会を喜び、和やかな雰囲気の中で盛大に式典が行われました。

◇「戸沢サミット」について

戸沢政盛公の顕彰と伝承、地域の活性化を目的に、茨城県高萩市の提案により10月26日に、高萩市文化会館で「戸沢サミット」が開催されます。

戸沢氏に由来のある岩手県雫石町、茨城県小美玉市、高萩市、山形県新庄市、仙北市の5市町の関係自治体が一同に会し、伝承活動等に取り組み、それぞれの地域活性化につなげようとするものです。教育委員会としても、このサミットに積極的に参加し、他の関係市町との情報交換や交流を深めて参ります。

【市民会館】

◇工事の進捗状況について

施設の老朽化に伴う屋根の防水工事及び外壁塗装工事について、

10月10日までを工期として7月5日に発注し、現在、工事を進めております。

また、昨年度の耐震診断結果に基づき、避難所としての耐震率を向上させるための耐震補強工事を、7月25日に発注しました。工期は、10月10日までです。今後、音響設備機器更新工事及び舞台照明設備工事についても随時発注し、秋の各種イベント等に間に合うよう進めて参ります。

なお、9月22日と23日の生保内節全国大会時には、仮設足場等の一部が残る予定ですが、大会運営等には支障なく開催できる見込みです。

【田沢湖図書館】

◇工事の進捗状況について

施設の老朽化による雨漏りや冬季の凍害を解消するため、屋根の防水工事と外壁等の補修工事を、10月10日までを工期として、7月5日に発注しました。

図書館は、工事期間中も開館することから、来館者の安全第一を念頭において工事を進めております。防水などの外装工事に加え、これまでの雨漏り被害で汚れた内装工事も行い、工事終了後は、読書環境としてふさわしい図書館をご利用いただけるものと考えております。

【スポーツ振興課】

◇田沢湖マラソンについて

9月15日に予定している田沢湖マラソンは、申込者が6,000人を超えており、昨年より1,000人ほど上回っていることから、駐車場対策については、下高野地区の牧場跡地に種苗交換会で整備を予定している場所に、500台ほどを誘導し、混雑の回避に努めたいと考えております。

なお、フルマラソンは、この度の激甚災害に見舞われた先達地区

内がコースの一部となっており、毎回、地域の皆さんから、給水ポイントとして、ランナーの激励等、沢山のご協力を頂いております。

こうした諸事情から、フルマラソンのコースを変更することも視野に入れ、田沢湖マラソンの開催実施方法について、大会運営関係機関等と様々な角度から十分に協議、検討して参ります。

◇フリースタイルスキー・モーグル競技会について

来年の3月14日から16日まで、2014フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会が田沢湖スキー場で開催されます。

この大会は、全日本スキー連盟が国内各地を転戦しているA級モーグル大会の一つで、秋田県では初めての開催となります。教育委員会としましても、この大会を成功させるべく関係経費を計上し、支援して参りたいと考えております。

また、全日本スキー連盟は、国際スキー連盟（F I S）が主催するフリースタイルスキー・ワールドカップ・モーグル競技大会を田沢湖スキー場で開催することを目指し、国際スキー連盟へ開催申請をいたします。今後、国際スキー連盟の担当者による現地視察などを経て、10月の国際スキー連盟理事会で正式に決定されることとなります。開催が決定した場合、平成26年度から28年度までの3年間、本市でワールドカップが開催されることになり、秋田県や秋田県スキー連盟等と協働して大会の誘致に努めてきたことが大きく実を結ぶこととなります。

県では、田沢湖スキー場の黒森山ゲレンデのジャッジハウスや必要な施設整備等について予算化を目指しており、本市としても県、県スキー連盟、田沢湖高原リフト株式会社とともに、開催準備委員会に参画し、競技の運営や約20カ国150人の外国人選手、役員の受け入れ体制等の諸準備を整えて参りたいと考えております。

◇スポーツ活動状況について

第95回全国高校野球選手権秋田大会での角館高等学校野球部の活躍は、球史に残る素晴らしいものでした。特に、決勝戦激闘後の選手の姿は、感動そのものであり、甲子園出場こそ叶いませんでしたが、市民やOB、関係者等に、たくさんの勇気と希望を与えてくれました。教育委員会としましても、今後の更なる活躍を期待し、支援と声援を送り続けたいと思います。

今年7月に、アメリカのシカゴで開催された「ラート」という体操競技の世界選手権において、仙北市角館町出身の高橋靖彦さんが、日本人で初めて個人総合優勝に輝きました。「ラート」とは、直径約2mの鉄製リング2本をつなぎ、自らの体重を利用して回転させ、技の美しさや難易度を競うものです。教育委員会としても、高橋さんが帰省した際に、その栄誉をたたえとともに、母校の角館小学校で体験会を開くなど、ラート競技を広く市民に紹介して行きたいと思います。

また、平成25年度の秋田県中学校総合体育大会において、生保内中学校女子剣道部が団体戦で準優勝、水泳競技で桧木内中学校3年の鈴木拓望君が100メートル平泳ぎで第4位、角館中学校2年の佐藤慶一君が50メートル自由形で第5位に輝き、続く東北大会においても大健闘いたしました。

さらに、全県中学校野球大会に出場した角館中学校は、準々決勝で惜しくも敗れましたが、春の大曲仙北地区の覇者としての実力を遺憾なく発揮してくれました。

【文化財課】

◇重伝建地区防災施設設置基本構想調査業務委託等について

本年度の主要事業であります重伝建地区防災施設設置基本構想調査業務について、6月28日に響同設計協同組合（代表理事 嶋崎辰雄）と業務委託契約を締結しました。

この業務内容につきましては、昨年度、早稲田大学理工学術院の

長谷見（はせみ）教授をはじめとした、策定委員で作成された重伝建地区防災計画策定調査報告書に基づいております。歴史的町並みと武家屋敷の木造建造物、景観樹木などを火災や地震等から守るとともに、避難対策等が住民や観光客にも、わかりやすいものにしようとする内容になっております。

補助事業の重要伝統的建造物群保存地区修理事業は、小田野家の主屋改修工事を2カ年にわたり整備する初年度になります。現在、改修工事前段の業務について、7月10日に戸納瀬建築設計事務所（代表者 戸納瀬肇）と業務委託契約を締結し、施設の内容を具体的に精査し、耐震診断等も設計に反映することとしております。

秋田藩角館郷校「弘道書院」については、復元につながる基礎資料作りとして、8月下旬に県文化財保護室の指導をいただき、現地で試験掘りすることを予定しております。昨年度の検討委員会の内容を踏まえ、当日は、山形大学の永井教授や秋田公立美術大学の澤田教授からもご指導をいただき、より充実した復元内容を目指していきたいと考えております。

【平福記念美術館】

◇「平福百穂没後80年展」について

9月25日から11月6日まで、樺細工伝承館、新潮社記念文学館との三館合同企画展「平福百穂没後80年展」を開催します。

今年は、仙北市が誇る日本画家である平福百穂が亡くなられて80年になります。この節目の年に、百穂の屏風や軸装等のほか、百穂が交流を深めた日本画家「結城素明」やアララギ歌人などに関する作品等の展示も行い、日本美術史上に燦然と輝く平福百穂の偉業を讃えたいと思います。市内外から、たくさんの方々にご来館いただき、平福百穂の画業等を堪能いただきたいと思います。

【国民文化祭推進室】

◇第29回国民文化祭・あきた2014実施計画案について

7月11日に文化庁が主催する平成25年度国民文化祭実行委員会において、第29回国民文化祭・あきた2014の実施計画案が原案通り承認されました。これにより仙北市を始め、県内各市町村主催の分野別フェスティバルが正式承認を受けたこととなり、今後、各都道府県を通じて、出演団体や出品作品の募集など、具体的な手続きが進められ、開催に向けた動きが加速していくこととなります。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げまして、本定例会の教育行政報告といたします。